

日本口蓋裂学会認定師 更新要件となる学術活動における点数

1. 論文発表での単位

日本口蓋裂学会雑誌（筆頭著者20、共著者5）

その他の和文学術雑誌（筆頭著者15、共著者5）

英文学術雑誌（筆頭著者20、共著者5）

*PubMed や医学中央雑誌などでの検索が困難な論文については、論文の表紙のコピーを提出してください。総説・著書を除いて記載できる論文は、「査読あり」の学術雑誌掲載論文に限ります。

2. 学会発表での単位（学会発表は口唇裂口蓋裂、先天異常に関わるものに限る）

1) 日本口蓋裂学会 発表（筆頭15、共同発表者5）

2) 国際口蓋裂学会 発表（筆頭10、共同発表者5）

3) 米国口蓋裂学会 発表（筆頭10、共同発表者5）

4) アジア太平洋口蓋裂学会 発表（筆頭10、共同発表者5）

5) 欧州口蓋裂学会 発表（筆頭10、共同発表者5）

6) その他国際学会、シンポジウム 発表（筆頭10、共同発表者5）

7) 共通国内学術大会 発表（筆頭10、共同発表者5）

8) 分野指定の学術大会 発表（筆頭10、共同発表者5）

9) その他の国内学会 発表（筆頭5、共同発表者2）

（本カテゴリーは委員会で判定し、採否を決定します。学術雑誌の刊行がなされていない学術集会なども含まれますが、発表の抄録集のコピーを添付してください。）

3. 学会参加での単位

1) 日本口蓋裂学会 参加20

2) 国際口蓋裂学会 参加15

3) 米国口蓋裂学会 参加15

4) アジア太平洋口蓋裂学会 参加15

5) 欧州口蓋裂学会 参加15

6) その他口蓋裂にかかわる国際会議、シンポジウム 参加10

7) その他の国際学会* 参加10…口蓋裂に関連した発表に関わって参加した場合のみ

8) 共通国内学術大会 参加10

9) 分野指定の学術大会 点数は分野で指定

10) その他の国内学会* 参加3…口蓋裂に関連した発表に関わって参加した場合のみ

*7) および10) は学術集会参加証の他に発表の抄録のコピーを添付してください。

共通国内学術大会：

各分野の専門資格を付与している学会の総会を指します。分野間の連携を深める上で、分野指定学会とは異なり、全ての認定師は下記のいずれの学会に出席すれば、出席単位10点が認められます。

日本矯正歯科学会、日本形成外科学会、日本口腔外科学会、日本言語聴覚学会

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会、日本小児歯科学会、日本補綴歯科学会、日本顎顔面補綴学会

分野指定学会：

各分野が指定する学術大会であり、該当する分野の認定師は大会に参加することにより出席単位が認められます（発表がなく参加のみでも単位は加算）。

1) 矯正歯科分野指定学会（参加5点）

- (ア) 日本顎変形症学会
- (イ) JADR
- (ウ) 日本矯正歯科学会協力7地方学会
北海道矯正歯科学会、東北矯正歯科学会、甲北信越矯正歯科学会、東京矯正歯科学会、
近畿東海矯正歯科学会、中四国矯正歯科学会、九州矯正歯科学会
- (エ) Asian Pacific Orthodontic Society (APOS)

2) 口腔外科分野指定学会（参加5点）

- (ア) 日本口腔科学会
- (イ) 日本顎変形症学会
- (ウ) 日本小児口腔外科学会
- (エ) 国際口腔外科学会
- (オ) アジア口腔外科学会
- (カ) 顎口腔インプラント学会

3) 形成外科分野指定学会（参加5点）

- (ア) 日本形成外科学会基礎学術集会
- (イ) 日本形成外科地方学会（旧地方会）
北日本、関東、中部、東海、関西、中国・四国、九州・沖縄
- (ウ) 日本頭蓋顎顔面外科学会
- (エ) 日本形成外科手術手技学会
- (オ) アメリカ形成外科学会（ただし口蓋裂に係わる発表に関与した場合は10点）

4) 耳鼻咽喉科学分野指定学会（参加5点）

- (ア) 日本口腔咽頭科学会
- (イ) 日本小児耳鼻咽喉科学会
- (ウ) 日本耳科学会
- (エ) 日本音声言語医学会

5) 音声言語分野指定学会（参加10点）

- (ア) 日本コミュニケーション障害学会
- (イ) 日本音声言語医学会

6) 補綴分野指定学会 (参加5点)

- (ア) 摂食嚥下リハビリテーション学会
- (イ) 口腔インプラント学会

7) 小児歯科分野指定学会 (参加5点)

- (ア) 日本小児歯科学会各地方会
- (イ) 国際小児歯科学会 (IAPD)
- (ウ) アジア小児歯科学会 (PDAA)
- (エ) 日本障害者歯科学会
- (オ) 日本小児口腔外科学会
- (カ) 成育歯科医療研究会